



2024

ちよの幼稚園

ECEQ[®] 公開保育

学校法人 田中学園
幼稚園型認定こども園

ちよの幼稚園

STEP4

2024/10/25 FRI

924-0073

石川県白山市千代野東4-16

TEL:076-275-2102

あいさつ

本日は、ちよの幼稚園、ECEQ STEP4 公開保育にご参加いただき誠にありがとうございます。本園は、子どもたちの「生きる力の基礎づくり」を行うために日々教育に励んでおります。そこで大切にしているのが、遊び、体験、探索です。

ちよの幼稚園の幼児教育は①様々なことに進んで取り組む自信と意欲づくり②体験活動からの気づきの心を育てる③少なくとも良い。仲良い友達をつくる力。④文字・記号に興味・関心を持たせる機会をつくる。⑤人の話を聞いて理解し、人に対して話ができるような対話の力を養う。というものです。

それらを教師一人ひとりが理解し、チームで「心の教育」を行うことできるように一人ひとりの声を大切にする園内研修を行い、お互いのことを知り、伝え合うことのできる教育集団を目指しております。

ECEQ のテーマは実施園が「やってよかった」と実感できるというものです。参加者の皆様も「来てよかった」と思っただけのように励んできましたので皆様にとっても実りある1日になることを願っています。また公開保育を通して、皆様の気づきや考えをお聴かせいただけるようお願い申し上げます。

ちよの幼稚園 園長 田中 康雅

コーディネーターの紹介

○メインコーディネーター：亀田 理恵子（みはる幼稚園 副園長）

○サブコーディネーター：浅井 大雄（玄門寺幼稚園 副園長）

中川 さゆり（白嶺幼稚園 主任）

○コーディネーター：中 谷 薫（津幡とくの幼稚園 園長）

鮎 川 正（木の花幼稚園 園長）

ちよの幼稚園の概要

名称：学校法人 田中学園 幼稚園型認定こども園 ちよの幼稚園

創立：1980 年

2023 年より幼稚園型認定こども園へ移行

ちよの幼稚園が目指す子ども像

- (1) げんきな子
- (2) 思いやりのある子
- (3) どんなことにもがんばる子



◇ECEQ について

～幼児教育の質向上のために～

幼児期の教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであり、小学校以上の教科学習とは異なり、環境を通じた教育が行われることは幼稚園教育要領等に示されているとおりです。人間の基礎教育である幼児教育に投資することが重要なことも、世界的な認識となり、幼児教育は OECD(経済協力開発機構)も注目している分野です。

同時に幼児教育の質が問われることとなり、各国では多様な評価スケールが開発される等、質向上に向けて様々な取り組みが行われています。公的な教育を担う私立幼稚園等としては、独自性を失わずかつ独善に陥らないために学校評価に積極的に取り組む必要がありますが、現状としては学校評価の中でも最も重要な自己評価がうまく機能せず、園としての課題が明確になっていない園も多く見受けられます。

そのため、当機構は平成 20 年度より学校関係者評価を支援するための研究を続け、幼稚園等が公開保育を実施し、外部の視点を導入することによって、自園の教育実践の質向上につなげていく学校評価実施支援システム「公開保育を活用した幼児教育の質向上システム」の開発を進めてきました。平成 29 年度からは「公開保育を活用した幼児教育の質向上システム」Early Childhood Education Quality System. の頭文字をとって ECEQ®(イーセック)と名付け、この取り組みの更なる普及を目指しています。

ECEQ® に取り組むことで公開保育を実施し、外部からの参加者と共に保育を語り合う

ことによって、これまで自分たちには見えなかった新たな視点が参加者からもたらされることにより、環境の再構成やカリキュラムの見直し等へつながるのです。園内に幼児教育の質を高めるための新しい風を吹き込ませることができ、これが ECEQ® です。

(ECEQ® Coordinator Textbook & Manual より)

◇学び合う公開保育に向けて

本日の公開保育では学年ごとに保育に対する課題を『問い』として『問いボード』に貼り出しています。学年ごとにグループ分けしておりますので、あらかじめ担当する学年の『問い』に目を通していただき、立てられた『問い』に重点を置いて参観してください。

『問い』に共感する点や良かった点、意見や質問など、気付かれたことを付箋に記入し、『問いボード』に貼ってください。

午後のグループ別協議では、貼っていただいた付箋をもとに、学年ごとに分かれて話し合います。担当される学年の『問い』に対して、できるだけ多くの付箋を貼っていただきますと、午後からのグループ別協議も盛り上がります。

また分科会参加予定以外についても参観いただき、付箋によるご意見をいただくと大変ありがたいです。分科会はいませんが、1歳児(ふたばぐみ)2歳児(たんぽぽぐみ)にも付箋ボードがございます。

※付箋が足りなければスタッフまでお声掛けください。

◇付箋について

1. 付箋の種類

付箋は3色（ピンク、イエロー、グリーン）があります。

- ・ピンク … 各学年の問いによって…（年少は10P、年中は12P、年長は14P、未満児は15P 参照）
- ・黄色 … 各学年の問いによって…（年少は10P、年中は12P、年長は14P、未満児は15P 参照）
- ・緑 色 … その他、問い以外で、公開保育を通じての感想、質問など（園全体の感想でも OK）

2. 付箋を貼る際のルール

- ・次ページの図のように問いのエリアにはピンク・黄色の付箋を貼ってください。
- ・緑色の付箋はその他のスペースに貼ってください。（図参照）
- ・協議会は問いを中心に行い、時間に余裕があればその他（緑色付箋）について話したいと思います。
緑色の付箋については各自参加される分科会の模造紙に貼ってください。
- ・各学年の模造紙の貼り出し場所は園内マップの☆マークの箇所にございます。ご確認ください。

3. 付箋の書き方について

- ・受付で配布した水性ペンで、簡潔に記入してください（ペンは終了後にご返却ください）
- ・保育中に付箋が外れる可能性があります。記入例のように左上に問いの番号を記入ください。

4. ECEQ のグランドルール

- （1）荒探しの場ではなく、実施園の成長を願って…
- （2）積極的な参加と公平な機会での対話を…
- （3）個人情報にご配慮ください。

【付箋の記入例】

※もちろんこのような書き方でなくても構いませんあくまでも記入例です。

①
〇〇のところが
良かった！

②
〇〇のところを
△△にすると…

○付箋置き場

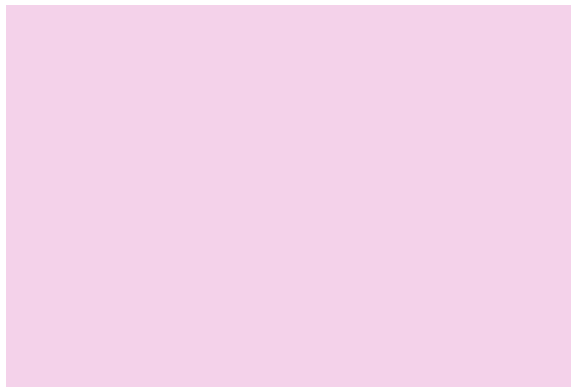
問いによって、それぞれの付箋に記入いただく内容が異なります。

年少組は10P、年中組は12P、年長組は14Pに記載がありますのでご確認ください。

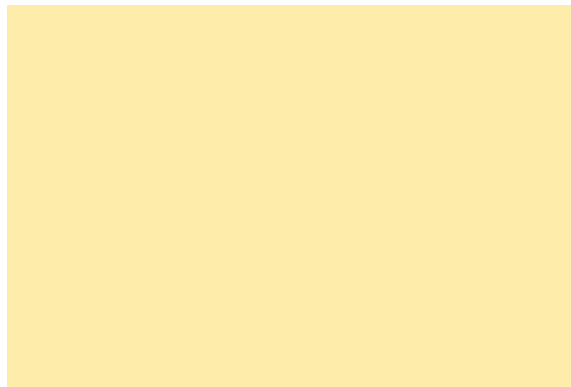
※分科会はありませんが、未満児クラスにも問いがございます。

未満児クラスの問いは15Pに記載がありますのでご確認ください、
記入いただけると幸いです。

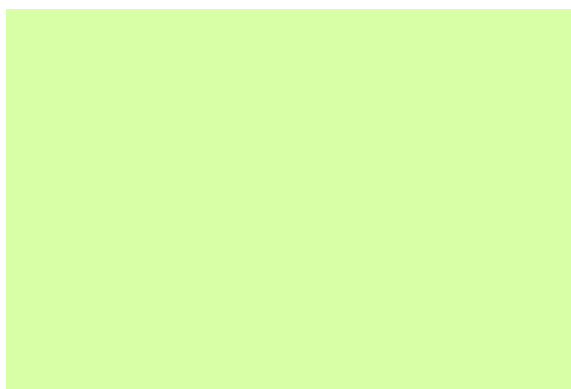
○ピンクの付箋



○黄色の付箋



○緑色の付箋

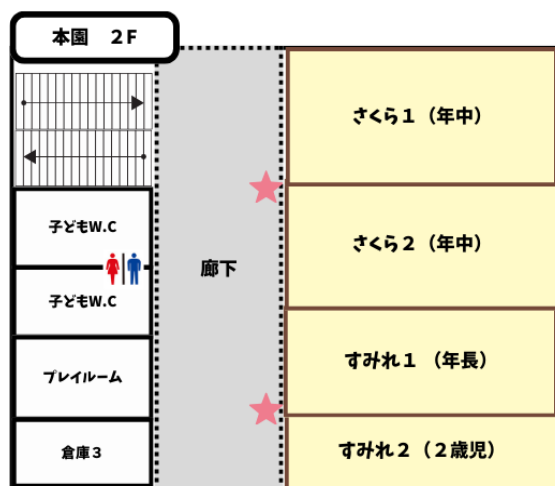
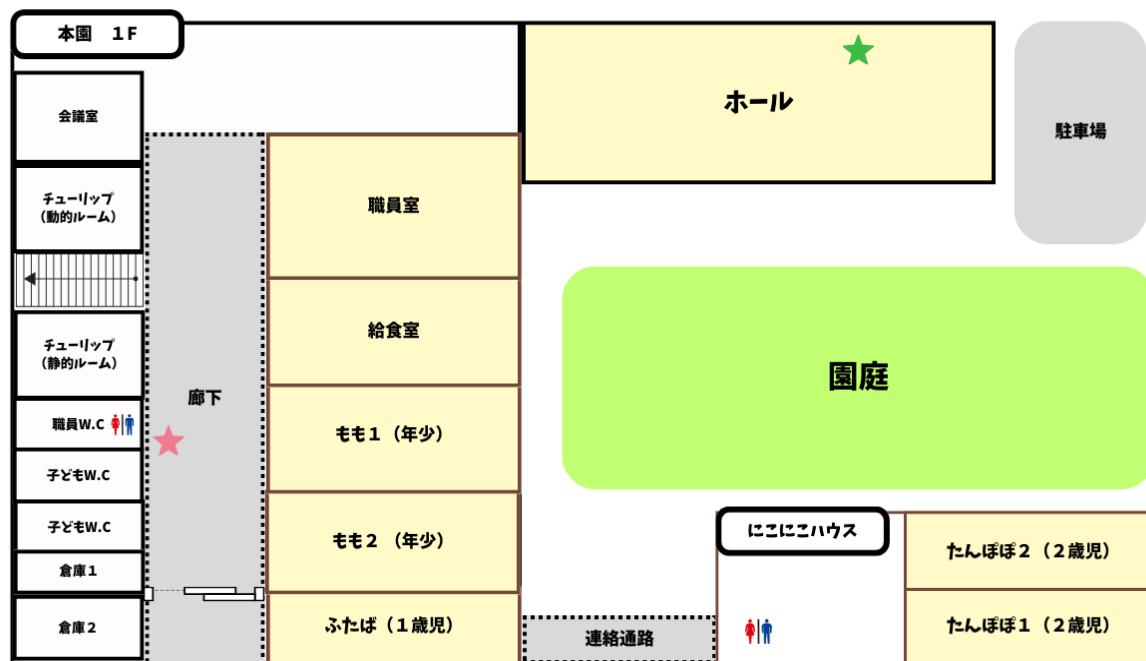


【図】 問いの模造紙への貼り方

問い1 ○○○○			
①	①	①	
①	①	①	
問い2 □□□□			
②	②	②	
②	②	②	
その他・良かった点			

～ タイムスケジュール ～

時間	内容	場所	備考
9:00～	受付開始 見学	玄関 見学は園内・園庭	冊子・資料などを受け取りください
9:35～	オリエンテーション 開会の挨拶・実施園の挨拶 コーディネーター紹介 ECEQの説明など	ホール	園児は 11:30降園
9:55～	公開保育	各会場	付箋を模造紙に 貼り付けてください
11:45～	昼食・休憩	ホール	
12:30～	グループ別分科会	もも1・さくら1・すみれ2	各学年の部屋にお分かれください
15:00～	閉会式 ・実施園の挨拶・閉会の挨拶	ホール	



大人用トイレ



問い模造紙の位置



※緑の星は未満児用の問い模造紙の配置箇所です。

※写真を取っても構いませんがSNSへの投稿や
他者への送信はされないようにご配慮ください。

※荷物はホールに置いたままで構いません。
(貴重品は各自でご管理ください。)

年少組・年中組（日案）

ねらい	- 身近な物と関わり感性が育つ。 - 身の回りのものに親しみ、見る触れるなど様々なものに興味や関心をもつ。 - 感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造力を豊かにする。	- 秋の自然に興味を持ち、様々な物を触ったり見たり聴いたりしながら、身近な自然を楽しむ。 - 戸外で拾った自然物を遊びに取り入れたり、飾ったりする。
保育内容	フィンガーペイントによる自分だけのオリジナルツリー製作。 お気に入りの自然物を見つけ思い思いに造形遊びを楽しむ。	園庭につながる身近な自然環境である”かたらいの広場”にて、自然遊びを行う。忍者に変身！忍者修行として、お気に入りの葉っぱをひとつ見つけて、自分の分身を作り、その分身を自然の中に隠し見つけ合う、かくれんぼを楽しむ。
学年 時間	ももぐみ（年少）	さくらぐみ（年中）
8:30	登園・身辺整理	
10:00	自由遊び（園庭・保育室）	朝の会
10:30	朝の会	
	造形遊び（もも保育室） フィンガーペイント ツリー製作	 自然あそび （語らいの広場）  造形あそび （保育室） カラスの お洋服
11:00	降園準備・お帰りの会	降園準備・お帰りの会
11:20	降園	

年長組 （日案）

ねらい	・考えたり、話したりする中で自分なりの考えや感じ方を理解していく ・友達の意見を受け入れ、様々な考えや思いに気が付く ・自分と同じ意見や考えを持つ人に共感する	
保育内容	・自由遊びでは園内の好きな所で思い思いの遊びを楽しむ。 ・一つのトピックについて子どもたちと話し合う。今回のトピックは ・それぞれのクラスで話し合いたい内容となっています。 ・2学期に入り、ドッジボールが子どもたちのブームになっており、すみれ1組対すみれ2組の対決で行う。	
学年 時間	すみれ1くみ（年長）	すみれ2くみ（年長）
8:30	登園・身辺整理	
10:00	自由遊び（園庭・保育室・チューリップ）	
10:30	朝の会 すみれ会議（すみれ保育室） テーマ どうしたらドッジボールが 強くなれる？ テーマ ともだちってどんな人？	
11:00	ドッジボール（ホール）	
11:20	降園準備・お帰りの会 降園	

年少ぐみのこれまでの学びの軌跡



色への興味が!!

ある日、「きょうりゅうかくれんぼ」の絵本を読んでいると子どもたちの「紫色の恐竜いる!」「赤色も!」「黄色もいるね」と色に注目する声がたくさん聞こえて来ました。そこで、色に関する遊びが始まります!

色の混ざりに注目!

色の混ざりに興味を持ち始めた子どもたち!

そこで、色の混ざりがわかりやすい遊びを行いました。水を入れたペットボトルに、絵の具を入れて色水実験!

透明のお水から、色が出てくる不思議や、色を混ぜ合わせると変化する不思議に驚きと興味が湧いてくる子どもたち!



魔法の手を使おう☆

自分の手や指で絵の具を触って色を作るフィンガーペイントで遊びました!

様々な色を見てきた子どもたちは、色作り職人に変身します!

指に絵の具をつけて、混ざり合いを楽しんだり、絵を描いたり・・・「赤と白でピンク色になったよ!」「緑色できた!」「全部混ぜたら黒色になった」と、身近に絵の具に触れることで五感を感じることができ普段絵を描くことが苦手な子もいる中で白い画用紙に色を乗せていくことで表現力が高まり、自信になりました!

全身で楽しもう♪

手で色作りを楽しんだあとは全身を使って遊びました!ボディペイントでは、外に出て、ダイナミックに絵の具で身体中をパタパタしていきます!

外に出ると、気持ちも開放的になり「きゃー!おばけだよ!」「手合わせてみよう!」「色混ぜ混ぜしたよ!」「なんかざらざらしてる!」とこれまでに気づくことができなかった発見があり子どもたちも大喜びでした。

白い模造紙を置いておくと・・・その上を歩き始めました!「足の形できたよ!」「手いっぱいあるよー!」と、白い模造紙から一気に子どもたちのアートとなりました!

汚れて遊ぶということが減ってきている中、こうして遊ぶことで思い切り遊ぶ楽しさや、発想力が豊になると感じました。ここまで遊び込む子どもたちは発想の天才!成長過程を大切にしながら、遊びを工夫していきたいと思いました。



年少組 分科会

問いの背景

もも 1 くみ

1学期から、絵を描いたり、物を作ったりする楽しさを知り、色んな色を使って思い思いに表現してほしいという思いでクレヨンや絵の具を使った製作、行事の自由画など様々な造形活動に取り組んできました。その活動の中で、お友達と顔を見合わせながら「みてみて！できたよ！」と話し、製作を楽しむ姿、自分の思い通りにできない子ども日々の活動を通し、教師に認められる経験を通して自分の思いを出してしっかりと楽しめるように育っています。その反面、数名の子が「なにを描いたら良いかわからない」「先生一緒にやってほしい」と話す子どもの姿が見られます。

その子達に対して教師から「じゃあ〇〇くんの好きな電車を描いてみる？」「一緒にハート描いてみようか？」などその子の興味に合わせた声掛けを行い、活動を促すことがあります。しかし、本当にその子が表現したいもの、やりたいこととして自身で選べているのか？と感ずることがあり、なかなか子どもからは思いが出ないことがあります。

造形活動があまり得意でない、気が向かない子に対して、先生の援助を必要とする時もありますが、少しずつ挑戦して、造形を通した表現の楽しさ・喜びを知ってほしいと願っています。

もも 2 くみ

今年は「色」に興味を持つ子が多くこれまで色に関する遊びを行ってきました。毎日お家から持ってきた自然物を見比べて色の違いや触り心地を楽しむ姿が見られ、現在興味のある「秋の自然物」とこれまで行ってきた色遊びを混ぜ合わせる「フィンガーペイントツリー」で遊ぶことにより子どもたちの好奇心や、表現力が育つよう工夫しています。

これまで以上に子どもたちの発言力が光り、活動を進めていく中で、個々の流れの違いや興味を持つものが違ったりと様々な姿が見られます。

また私【A】は今年初めて学年主任をしており、活動の内容を決める立場にあります。

学年の活動を進める中では子どもの声を聴きながら活動を進めるよう心掛けたり、一緒に楽しみながら遊び込みたいと思っています。しかし、進行することに必死になってしまい子どもたちの声をうまく拾えなかったり、良い発言をしていても聴き逃してしまうことがあります。ぜひ、この機会に子どもたちの様々なつぶやきや発言を教えてください。

問い 1

造形遊びや製作活動においての声掛けや援助について教えてください。

- ① 気の進まない子に対する声掛けで気付いたことを記入ください。
また自園での工夫があれば教えてください（ピンクの付箋に記入）
- ① 子どもたちの造形遊びに向かう姿で気付いた素敵な点・気付きを教えてください。
（黄色の付箋に記入）

問い 2

活動中での子どもたちのつぶやきについて教えてください。

例 ②【キ】
楽しいね！

- ② 活動中での子どものキラキラした発言、反対にネガティブな発言を教えてください。 ※キラキラしたものは【キ】・ネガティブなものには【ネ】と添えてください（ピンクの付箋に記入）
- ② 参加者の皆様の園で子どもたちの発言を拾い、始まった活動などがありますか。実際に行った活動があれば教えてください。（黄色の付箋に記入）

※ 問い 1 に対しての回答は①と問い 2 に対しては②と付箋の左上に記入ください。

年中ぐみのこれまでの学びの軌跡



優しいことってどんなこと??

優しいことをすると山にお花が咲くという花咲山のお話。

「やさしいことってどんなこと?」と子ども達と話し合ってみると、「頭をなでてあげる」「大好きっていう!」「ケンカしてもごめんねが言える」などの意見が出たり、「ごはんのお手伝いをする」「お洗濯ものをたたむ」などお家のお手伝いをイメージする子もいました。それぞれの思う「やさしいこと」をみんなで共有することで、お友達の意見を聞き、色々なことに気付く機会にもなりました。

そんな素敵な花咲山をみんなの部屋にも作ろう!と子ども達。さくらぐみの花咲山には子ども達の優しいお花が咲き誇っています。

葉っぱのビンゴ、で〜きた!!

いろいろはっぱの絵本を読んで、色々な色や形をした葉っぱに興味を持った子ども達。「葉っぱのビンゴで遊びましょう!」と書かれたお手紙が葉っぱ🍃のつるこさんから届き、子ども達は一目散にいろいろな葉っぱを探しに出かけました。

「グーの葉っぱ見つけたよ!」「これはぷっくりほっぺだ!」思い思いの感性で身近な自然の美しさや不思議に触れ、五感で感じ興味関心を持つことができました。



つのがくんとふわちゃん

さくらぐみに新しく仲間入りした、カブトムシのオスとメス。子ども達は名前をつけて、大切に育てていました。夏の終わりには悲しいお別れ。つのがくんとふわちゃんの間にも生まれた新しい命。たくさんの感動がありました。

自然の学びは楽しく、興味深く、記憶に残るもの。生物の観察を通して、動植物に対する親しみをもち、生命の不思議や尊さに気づき、大切にすることができました。

年中組 分科会

問いの背景

春より徒歩で行くことができる、地域の4つの公園と園庭の隣に広がる“かたらいの広場”にて、教師が自然の探偵に変身し、生き物たちの困りごとを解決するという形で、シルエットや形、色をヒントに秋の自然を探したり、帽子の形に切り抜かれた手作り帽子を持参しそれぞれの秋の自然を楽しむ等、絵本の世界と結びつけながら様々な自然遊びに取り組んできました。秋になり、季節の移り変わりを感じながら、春にもお散歩した公園にて、好奇心旺盛に走り回り、体いっぱい自然を感じています。

また、遠足では“白山青年の家”の周辺を散策し、忍者に変身し、巻物に記してある様々な修行と題した自然遊びを通して、秋の自然を楽しんできました。遠足やお散歩で見つけた秋の素材を使って、どんぐりコマや松ぼっくりツリー、どんぐり迷路や、落ち葉を合わせての造形等、想像力を膨らませ遊ぶ姿が見られています。

五感で刺激を受けて心が動かされる体験を重ねていくにはどのような環境設定や教師の言葉かけ、工夫が必要なのか？持ち帰った秋を活かしてどのような遊びが展開できるのか？子ども達の様子を見ながら、試行錯誤している毎日です。

心が大きく成長する年中組。いろいろな事に興味を持ち、自分でやり遂げたいと思い始める年中組ならではの自立心を大切にしていきたいです。友達への関心が深まり、共に遊ぶ楽しさを感じる姿が見られます。一方で、まだまだ上手く自分の思いを伝えられなかったり、ふざけて嫌な言葉を発してしまったり、友達に教える時の口調が強くなってしまったりと気になるケンカやトラブルも度々見られます。

友達の思いに気づき、思いやりを持って関われるような温かいクラス作りができるようにという願いを込めて、花さき山のお話や、ちくちく言葉、ふわふわ言葉のパネルシアターを用いてみんなで考え合う機会を持ったり、子どもたちのやり取りを聴き、「〇〇くんの今の言葉はふわふわ優しい気持ちになるね！」「その言葉、お友だちはどんな気持ちになるかな？」と言葉かけをしながら、思いやりの心を育むためにはどんな援助が必要か？向き合いながら保育を行っています。

問い1

自然物との関わりの中での子どもの興味関心を引き出す教師の工夫や援助について教えてください。

①

教師の声掛けや工夫によって子どもの心の動きがあったか教えてください。
またどんな姿がありましたか？
(ピンクの付箋に記入)

①

拾ってきた自然物や持ってきた自然物を活かした遊びや製作について皆様の園での事例があれば教えてください
(黄色の付箋に記入)

問い2

本日の年中組の子どもたちの様子を見て、思いやりや気遣いなどの心の育ちの様子はありましたか？

②

教師の声掛けや工夫によって、心の育ちを感じた場面はありましたか？
(ピンクの付箋に記入)

②

子ども同士の関わりの中でいいなと感じた場面はありましたか？
また思いやりの心を育てる為に皆様の園で取り組まれている事例があれば教えてください。
(黄色の付箋に記入)

※ 問い1 に対しての回答は①と問い2 に対しては②と付箋の左上に記入ください。

年長ぐみのこれまでの学びの軌跡



すみれ会議

子ども会議とはひとつのトピックについてみんなで自由に話し合うことです。初めは会議を子どもたちに知ってもらおうと絵本「子ども会議」を読みました！

「パパも会議しとるよ」「先生たちもこの前してたよ」と興味津々な表情で絵本を見る子ども達・・・

そこで子ども会議をやることにしました！「すみれ組がする会議やからすみれ会議じゃない？」「すみれ会議しよー！」と名前も決まり、色々なことを話し合ってきました。

好きなどうぶつは？から生まれた深まり

「好きな動物」について会議をした時には初めは犬や猫、ペンギンなど好きな動物の名前とその理由を話していた子ども達でしたが、ある子が「犬飼ってたよ！でも死んじゃった・・・」という発言から会議の空気が変わり、「うちもハムスター死んだよ。悲しかった」「寂しくなるよね」「命あるもんね」と自然と命の大切さを感じる会議へと変わっていきました。お友達の発言が刺激となり、様々なことを考え、言葉にすることで会議が更に深まっていくことを感じました。



お泊り保育もすみれ会議で・・・

今年度は自園でお泊り保育を行うことになり、内容をすみれ会議で決めることになりました。会議は何度も行われ、「みんなが楽しいお泊り保育」を目指して話し合いを重ねてきました。

おでかけ先を決める時には最後の一人が納得できるまで、話を聞いたり、説得したりしながら行き先を決めていました。

誰一人、反対の意見を責めることなく、受け入れながら、より良い方法を探そうとする子ども達に感動でした。

年長組 分科会

問いの背景

子ども達が自由に意見を出し合う「子ども会議（通称：すみれ会議）」に取り組んできました。クラスみんなで「好きな動物」について話し合ったり、チームに分かれて「リレーで勝つにはどうするか？」を話し合うなど様々なトピックを取り上げてきました。この活動を通じ、子ども達同士が対話を重ねることで、聞く力や話す力、発想力や多様性を認められる力などが育って欲しいと願っています。

子ども達からの発言が増えてきた一方で、中には自分の話が終わると会議への興味がなくなってしまう様子や、教師に司会進行を求めるような姿が見られます。子ども達同士で話し合いを展開していけるようになって欲しいと思い、子ども同士の話し合いの邪魔にならないよう、教師が質問をしたり（あえて聞き返す）、話を広げる（話題を切り替える）などの声掛けをしたり、発言はなくても聞いていたり、頷いたりするような子の表情に注意したりと援助しています。

問い 1

すみれ会議の中で子ども同士の対話が進むことを意識した教師の工夫や援助に対して教えてください。

① 教師の声掛けや工夫、援助で良かったところを教えてください。（ピンクの付箋に記入）

① 会議を通して、子ども達同士で対話している瞬間がありましたら教えてください。

（黄色の付箋に記入）

問い 2

自園で今までで一番盛り上がった話し合いのテーマがあれば教えてください。また、今日の子供達の様子をご覧になって「これ話し合ってみたら？」と思うテーマがあれば教えてください。

② 上記について記入ください。（ピンクの付箋に記入）

※ 問い 1 に対しての回答は①と問い 2 に対しては②と付箋の左上に記入ください。

1歳児クラス ふたばぐみ

大好きなおもちゃに集まるほどにおもちゃが大好きな子どもたち、自分のお気に入りを見つけて大事そうにしている姿も見られます。

既製品もあれば、手作りのおもちゃもあり、型はめやパズルなど発達段階を配慮しながら出しています。またごっこ遊びが広がるようにも工夫しています。

それが魅力的なあまり、一つのおもちゃを取り合いしトラブルになったり、おもちゃの出す量や片付け方に関しても悩みがあります。

もう少し遊び込んでほしいという思いや、一つ一つのおもちゃ遊びに集中できるスペースの確保の為に工夫を行いたいと思っています。

問い1

おもちゃやお部屋の環境についてお聞かせください。

- ① おもちゃの配置、収納の活用、お部屋のスペースの使い方などアドバイスやうまくいっている方法があれば教えてください。（ピンクの付箋に記入）
- ① おもちゃの量やおもちゃの種類で気になること、おススメがあれば教えてください。（黄色の付箋に記入）

2歳児クラス たんぽぽぐみ

2歳児の子どもたちは4月から比べるとよく寝るようになってきていますが、早く起きる子もいれば、もっと寝たい子もいる現状です。

当園は幼稚園型認定こども園の為、14：30にお迎えに来る子、バスに乗る子もいる中で14：30にカーテンを開け、電気をつけて明るくしています。

早朝保育から17：30ぐらいまで保育を必要としている子もあり、その子は午睡が足りないようにも思えます。

午睡を無理にさせたいとは思っておりませんが、身体を作ることを考えると十分な午睡をとってほしいという思いもあります。

当園は認定こども園となり、午睡習慣が始まってまだ2年目の為、模索する毎日です。

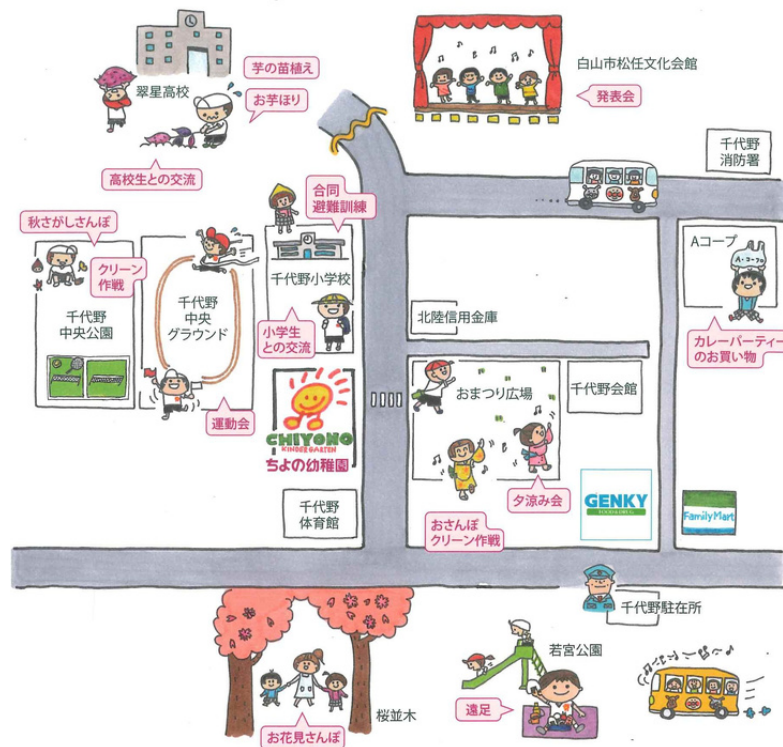
問い1

皆さんの園での午睡の工夫や対応について教えてください

- ① 子どもたちが気持ちよく午睡に向かえるような導入で工夫があれば教えてください。（ピンクの付箋に記入）
- ① どれくらいの時間午睡を取っていますか？ 個に合わせて起こすや寝かすなどどのような対応していますか？（黄色の付箋に記入）

問い模造紙はホールにあります。お昼時間などに付箋を貼っていただくと嬉しいです！

園外環境MAP



園内絵本MAP



近年の園内研修の変遷

	変化のキッカケ	園・園内研修の変化
平成19年度	園内での公開保育を始める (自園職員のみ参加)	ちよの幼稚園 研修委員会の発足
令和2年度	研修会に参加し、KPT法を使った 園内研修の進め方を学ぶ	2学期末に園内研修研究会で学んだ“アイスブレイク”“KPT法”を使い「秋の遠足」をテーマとした園内研修を実施。その内容も壁新聞にまとめる。
令和3年度	研修会に再び参加しKPT法を使った自己評価の進め方を学ぶ	2学期より代表者3名+現園長・主任と共に小規模で試験的にKPT法を使って日々の保育を振り返り(自己評価)を毎月行う。 その成果を園内公開研修で全職員に紹介し、実際に全職員で体験し、自己評価のあり方を見直した。 それに関する壁新聞を作成。
令和4年度	令和3年度の公開研修の成果	全正規職員を毎月2班に分け、KPT法を使った自己評価を毎月実施することになる。園内研修のあり方、保育の質の向上に大きな影響を与える。
令和5年度	- 自己評価の毎月の実施の成果 - 職員が見える化研究会に参加し、そこでの課題“働きやすい職場づくり”と向き合う	- 自己評価に毎年のテーマを設けることにアップデート - 園として職員の自己評価のフォーマットをKPT法ベースに変更 - 園内研修も学び合いが生まれる形へ変更(付箋・模造紙を使う形・ゲーム形式など) - 例年行っていた反省会を“振り返りの会”と名称変更し、形式も報告形式から伝え合いが生まれる形式に変更
令和6年	東海北陸石川大会での学び	- R5年度の振り返りの会について記した壁新聞の作成 - 職員各々が受けた研修について学びの共有会を行う。 →以前まで行っていた園外研修報告会からの変更



